

平成13年度 施策別 取組方向

部局名：地域振興部、県土整備部

施策番号	施 策 名		
531	高速交通網の整備		
<p>【2010年度の目標】 空港、新幹線、高速道路など高速交通機関までおおむね30分で到達できる地域が拡大され、また、県内主要都市をおおむね2時間で結ぶ交通ネットワークの形成が進み、住民がさまざまな高速交通網を利用して、全国、県内と活発な交流・連携ができるようになっていきます。さらに、中部新国際空港と関西国際空港の二つのハブ空港を拠点とした国際交通ネットワークの形成が図られ、空港、鉄道、高速道路などのネットワーク化により全国一日交流圏が拡大されています。</p>			
項 目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
高速アクセス30分	約8割の市町村で達成	約8割の市町村で達成	約8割の市町村で達成 (約9割の市町村で達成)
県内都市間をおおむね2時間で連絡するネットワークの形成	13市間を結ぶ全78ルートのうち約8割	約8割	約8割 (約9割)
高規格幹線道路網 (整備率)	149km (46%)	149km (46%)	149km 46% (205km 63%)

1 平成11年度の取組

(1) 平成11年度の取組概要とその成果

(地域振興部)

【中部国際空港】

事業主体による環境影響評価手続きに協力し、11年7月に終了した。

本県からの海上アクセスについての地元での検討が進められ、その検討に参画した。

【太平洋国土軸構想】

伊勢湾口道路は、所要の調査を進めるとともに、全総で構想実現に向けた課題として提起された「交流・連携」のあり方を検討するため、静岡県・愛知県と地域連携共同調査(3カ年)に着手した。

東海南海連絡道は、地質概査・環境基礎調査を実施するとともに、同盟会等により建設機運の盛り上げ、PR活動を行った。

【リニア中央新幹線】

地形・地質や土地利用の状況等に関する調査に協力するとともに、同盟会等により建設機運の盛り上げ、PR活動を行った。

(県土整備部)

【道路】

高規格幹線道路の工事实施区間について、用地取得に努めるとともに、高速道路事業が円滑に図られるよう関連事業を実施した。

(2) 平成11年度の取組に対する問題点

(地域振興部)

【中部国際空港】

漁業補償交渉は、事業者が愛知県側との交渉に予想以上の時間を要したため本県側への交渉着手が遅れ、妥結に至らなかった。

(県土整備部)

【道路】

高規格幹線道路の用地取得については、一部地権者との交渉に時間を要した。

2 平成12年度の取組と成果見込み

(地域振興部)

【中部国際空港】

12年6月、漁業補償交渉が妥結した。

海上アクセスの事業化に向けた取り組みに対応する。

【太平洋国土軸構想】

引き続き伊勢湾口道路・東海南海連絡道に必要な調査を行うとともに、広く関係団体と連携して建設機運の盛り上げ、必要性のPRを行う。

【リニア中央新幹線】

引き続き調査に協力するとともに、試乗会やHPでのPRなど、県民への機運の醸成に努める。

(県土整備部)

【道路】

高規格幹線道路のうち工事实施区間については、円滑な用地取得に努め全線用地取得完了を目標とする。

また、整備計画区間のうち施行命令が出ていない第二名神・菰野～亀山間については、施行命令が出されるよう関係機関に強く要請する。

3 平成13年度以降に向けての取組方向

(地域振興部)

【中部国際空港】

海上アクセス等、本県からのアクセス利便性の向上に取り組む。

【太平洋国土軸構想】

次期道路整備五箇年計画(平成15年)での事業化への位置付けを得るため、計画的な調査及びPR活動を推進していく。

【リニア中央新幹線】

県内通過ルート・停車駅の早期確定等を国等関係機関に働きかけるとともに、県内の機運を醸成する。

(県土整備部)

【道路】

高規格幹線道路については、早期に供用が図られるよう残る事業区間について用地取得に努め、高速道路事業が円滑に図られるよう努める。